

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援・放課後等デイサービスあんじゅしゅしゅ		2025年 12月 5日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		1室をロールカーテンで仕切る等の工夫や2グループに分けて外と中で分散することで広く使えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		基準を満たし加配もついている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		一部かなっていない点もあるが視覚的な配慮を行っている。絵カードでスケジュールを児童にも分かり易くしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	毎日、消毒と清掃を行っている。 空間を仕切られるようにロールカーテンも利用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		落ち着くための場所や静かな環境として大人付き添いの下ではあるが事務所も使用している。	必要に応じて職員と一緒に事務所も使い気持の切り替えに利用する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		3カ月に一度の業務改善会議の他、毎朝のミーティングにて話し合いの場を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ガイドラインの他、計画書作成にまつわるニーズの聞き取りシート等を通して意向の把握に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		3カ月に一度の業務改善会議の他、毎朝のミーティングにて話し合いの場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	利用したことがない。	第三者の外部評価は難しいが地域マネージャーに訪問頂き業務改善につなげる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		毎月（年10回）の施設内研修の他、資格取得に関する研修、外部研修の機会が確保されている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		静と動の活動を織り交ぜて作成し、気持ちの切り替えのメリハリがつくようにしている。個々のアセスメントに沿ってプログラムを作成している。 ブログ等での周知も行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		5領域の分野、家族支援、移行支援等の項目に沿って行い、保護者様にもアセスメントを公表し一緒に行っていただき計画書の制作を行っている。 2025年にアセスメントツール（コミー）を導入し専門的に見えるよう努めている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		全職員で計画書を周知するようにしている。 （回覧もしている）又、主任は会議にも参画している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		共有はしているが再周知を都度図り、切れもなく支援が出来るように工夫は必要と考える。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		ガイドラインを基にしたアセスメント用紙を作成し日常の様子、家庭の様子も踏まえて行うように努めている。アセスメントツールも利用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		主には本人支援に重点を置き作成している。 目標も5領域から抜粋したものを「具体的」「短期」「長期」に分けて作成している。会議内での確認及びアセスメントツールも用いて取りこぼしのないように行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・アセスメントを行ったうえで主任とそらだんをして行っている。又、静と動の活動を織り交ぜる等の配慮も行っている。 ・週案の設定を持ち回りで行う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・主任と筆頭で週案を作成し努めている。 ・週案の活動バランスを最終確認で工夫。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝のミーティングにて情報共有と相談をして支援を行っている。 ・ミーティングにて動きを周知、連携を取っている。施設内ラインも使っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・夕方のミーティングにて情報共有と相談をして支援を行っている。 ・職員間のラインで共有。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		保護者様との情報共有の連絡用紙とパソコンで残す支援記録がある。特筆すべきことは児発管利用記録にも記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		基本6カ月に一度のモニタリングとしている中、児童の状況に応じ6カ月よりも短いスパンで行う時もある。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		5領域と絡めて記載することに努めている。 アセスメント及び計画作成ツールにて取り入れている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・努めている。 ・コーナー遊びや集団遊びでやりたい事を自己決定したり、発言する場を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	他事業所の情報共有にて電話で管理者が対応したケースはある。	上限管理事業所にはなっていない為、担当者会議はないが関係機関との連携は理解したものが参画している。今後、サービス担当者会議が行われる際にも児童の状況を理解しているものが参画するように整えている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	ここ一年で該当するケースがない。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	4	土曜日だけの受け入れの為学校との関わりは希薄である。（保護者様を通じて学校の情報を受け入れることあり）	学校が休みの土曜日だけの通所の為、学校との情報共有はないが保護者さんを通してお聞きしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	実績はここ数年ないが以前、平日も利用者受け入れをしていた際には努めていた。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	・実績なし。 ・対象年齢が就学時のみとなる為。	小学校2年生までしかいないので実例がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	障害児地域支援マネージャーの方の訪問の際などには相談させて頂いたりしている。	定期的に地域マネージャーに訪問していただき助言を受ける。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・今後の課題である。 ・図書館へ本を借りに行くという取り組みを行っている。	天気が良いときは公園へ行き地域の子どもと一緒に遊ぶように心がける。又、地区センターでの催しにも出来るだけ参加し交流を図る。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	今後の課題である。（白石地域子ども部会にはなるべく参加するように心がけている。）	日時が合えば可能な限り参加に努める。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎の際に伝えあうことが多い。又、お求めに応じて事業所にお越しいただいたり、ご自宅へ訪問も行っている。 ・送迎時、顔を合わせて一日の様子、近々の発達について発信、家での様子も受信。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	・家庭より問い合わせがあった際、様々な情報の提供を行っている。外部研修や講習会の情報提供を行っている	今後、どのようにしたら開催できるかを考えていく。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		重要説明書に則り説明に努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		ご家族へは普段の会話の際に意向の聞き取りの他、ニーズシート（アセスメントシートと共に）での聞き取りも行っている。児童へは療育の際に聞き取るようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・状況に応じて行う事に努めている。 ・送迎時や電話等で相談があれば周知し個別に対応している。 ・すぐに対応し時間をかけて相談に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	今後の課題である。	駐車場や保護者さんの仕事の都合等を踏まえた上で、どのようにすれば開催出来るかを考えていく。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・重要説明書の説明時に体制について説明をしている。 ・迅速に周知され会議などを行い改善、報告を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		月に1度のあんじゅだより（紙媒体）の他、ホームページへの掲載、毎日ブログ（アメーバ・フェイスブック）にて日々の活動の報告を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		知りえた情報は口外しないこととしている。又、必要な場合（他事業所との連携や園との連携時等）も想定できるので個人情報取扱い同意書を用いて同意を得ている。ブログ等では顔の判別がつかないようにしている。書類もフルネームの記載は控えている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		文字を大きくしたり、ペクスにて配慮を加えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	招待はオープンした時しかないが事業名を出して地域の行事に参加したことはある。地域の方からプランターの差し入れを受ける等、町内会にも入会していることから活動は一部知ってもらっている。	児童主体の行事がほとんどの為、今後、何が出来るかを考えていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		契約時及び就業開始時にお伝えしている。又、年4回（1か月に2回×2）避難訓練を行っている。各マニュアル策定及び見直しも行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・管理者主導の下行っている。 ・年2回の避難訓練実施。 ・適宜、見直しも行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・契約時のフェイスシートにて伺っている。 ・アセスメントにて実施。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	以前は実績あり。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		管理者主導の下行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		管理者主導の下行っている。 契約の際に説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		発生時の状況、その後の対策や経過、方針等全職員で確認できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		事業所内研修（年2回）と随時の施設外研修に参加をするようにしている。虐待防止委員会は毎月開催し職員全員が周知している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		重要説明書に詳細を記載し計画書内には簡易的にはあるが記載している。契約時に説明を行っている。	